

和光市国際化推進懇話会中間報告

平成18年3月に「和光市国際化推進計画」が改定され、国際化推進の方向性がより明確に示された。当懇話会においては、任期における議題として、「1 国際化推進のための施策の内容について」と「2 市民海外派遣事業実施について」が事務局より提示されたが、平成18年度においては「1 国際化推進のための施策の内容について」、「改定後の計画に沿った内容で、かつ財政的な負担を伴わない新たな事業等について」の提案を求められた。

はじめに

和光市の特徴として、市内に理化学研究所や国立保健医療科学院などの多数の研究機関等が存在し、多くの外国人※1が和光市に在住や勤務、訪問していることが挙げられる。

和光市において、全人口（75,165人）に占める外国籍市民※2（1,331人）の割合は1.7%程度（平成19年1月1日現在）で、年々増加傾向にあるとはいえ、その比率が高いとされる他市町村と比較すると、この1.7%は決して大きくない数字である。

現在取り組んでいる施策等については、1.7%の外国人に対応できている状況であるようだが、今後、更に増加した場合を想定し、現段階から、さまざまな取り組みを体系立てて整備していく必要がある。

また、和光市に在住・在勤している外国人が持つ知識や能力を活かせる外国人参加型のイベント等を開催することは、彼らにとって地域貢献を実感する機会であり、市民レベルからの国際化推進につながる。

（※1：外国人＝和光市に関わる全ての外国人、※2：外国籍市民＝和光市に外国人登録している外国人）

以上のことを実現するために、

・外国籍市民と市民(日本人)の両方に対して、市の取り組み状況や生活情報の提供など「積極的な広報活動」

⇒「1 国際化推進のPR方法」

・国際化担当課の明確化

⇒「2 担当課の設置」

・和光市国際化の将来を担うであろう「和光市国際ネットワーク」の機能充実

⇒「3 和光市国際ネットワークの充実」

の3つについて、具体的な施策内容を以下のとおり提案する。

1 国際化推進のPR方法

国際化推進のPRは、対外国人と対市民(日本人)の2方向へ向けられるべきである。

まず、外国人の場合、日本における言葉や生活習慣などの違いによる“不便さ”を少しでも解消するために、きめ細やかな情報提供が必要であると考えます。外国人に対し、さまざまな情報を多様な媒体によって提供することで、より多くの人々が情報を得ることができる。また、情報を提供することは、行政や各団体の取り組みのPRにもなる。

外国人が暮らしやすい生活を送るために欠かせないのは、周囲(日本人)の理解である。彼らに対する市民(日本人)の理解を得るためには、幼少期から、それぞれのステージにおける国際理解教育が有効である。加えて、多くの市民が目にする広報やホームページを活用することは、市民(日本人)に対するPRとなる。

この状況を踏まえ、当懇話会として、市が今後取り組むべき「1 国際化推進のPR方法」の具体案を以下のように示したい。

・外国人に対する情報伝達システムの整備

多様な生活スタイルをもった外国人に、情報を等しくかつ的確に提供することは極めて重要である。外国籍市民に対する情報伝達システムを整備し、防災や生活に関する必要な情報を提供し、外国人にとって、和光市が、より“安心・安全なまち”となるようにする。情報伝達システムの整備にあたっては、先進的な自治体の例を十分に調査・研究する。

・国際理解教育の更なる充実

学校教育として各学校での取り組み、生涯学習として各公民館等での取り組みを更に充実させる。

・広報わこうに「国際化推進のページ」を新設する

広報わこうにおいて、「国際化推進のページ」を新設し、各種イベントや外国籍市民の意見欄を設け、わかりやすい日本語（ルビつき）で書く。

2 担当課の設置

現在、国際化推進に関する業務は人権文化課文化担当が担っているが、「国際」の文字は一つもなく、市民にとって非常に分かりにくい状況である。外国人に対しても、もちろん日本人に対しても「わかりやすさ」は重要であり、市の国際化推進の取り組み体制のPR

にもなる。

以上のことより、当懇話会として、「担当課の設置について」以下のような具体案を提示したい。

- ・現行の人権文化課を「人権文化・国際化推進課」に変更する

3 和光市国際ネットワークの充実

和光市国際ネットワーク（以下「ネットワーク」）は、国際化推進に関係する団体の活動状況や情報を常に共有し、相互に協力・支援できるように設立されたものであるが、現在はその活動が「市民まつり」への出展とそれに伴う準備・反省に終始しており、十分に機能していないという印象を受けざるを得ない。この状況は以前からも指摘されていたと聞いている。状況改善のために、市のホームページ上での情報交換を平成18年4月頃より開始したようだが、掲載情報の提供をネットワーク会員任せにしているために、充実しないのではないか。

そこで、市がネットワーク会員をまとめる形で、事務局として主導することで、活動の活発化、自立した活動が実現できると考えた。

以上のことより、当懇話会として、「和光市国際ネットワークの充実について」以下のような具体案を提示したい。

・情報の共有の強化

事務局が一月に一回程度、各団体に情報提供を依頼し、「情報の共有」を定着させる。

また、市ホームページのトップページに、和光市国際ネットワークのページへ直接行けるようにアイコンを置く（わかりやすいものにする）と、初めてホームページを訪れた人や、一般の人の目に触れやすく、和光市国際ネットワークのPRにもなる。